

中部縦貫自動車道「高山清見道路」中間インターチェンジ周辺の土地活用に関する サウンディング型市場調査結果（概要）

令和6年12月27日

高山市長 田中 明

1. サウンディング実施の経緯

現在、国土交通省中部地方整備局高山国道事務所において、中部縦貫自動車道「高山清見道路」の事業が進められており、高山IC～丹生川IC（仮称）間、約9.5kmの工事が行われています。高山清見道路の整備により、高山市東部の奥飛騨温泉郷平湯方面や、更には長野県松本市へのアクセス性向上が期待されています。

高山市は、上記区間の中間に位置する場所に、地域要請型追加インターチェンジ（以下、中間IC）を計画しており、インターチェンジ周辺において、観光人口、交流人口の拡大と、地域の活性化を図る目的で土地活用の検討を行っています。本調査では、持続可能な観光都市として、更なる地域振興・活性化、定住人口・交流人口の拡大など地域力の増強を図るため、中間ICを活用した、当該地区の地域活性化策を検討するため、商業施設、物流拠点の整備など、地域の可能性や魅力を活かした地域振興について、民間事業者の皆様から広くご意見・提案を求めました。

2. 対象用地の概要

所在地	岐阜県高山市丹生川町新張地内（通称：上野平）※概要版参照
地目・現況	田、畑
敷地面積	概ね1～5haを想定 ※提案内容による
区域区分	都市計画区域 農業振興地域 ※土地活用の提案を踏まえ、規制緩和の範囲を検討します。
高山清見道路（高山IC～丹生川IC（仮称）間）	高規格道路の無料区間。L＝9.5km ※開通時期は未定
地域の概要	・中間ICは、市街地から東へ約5kmの位置で、高台に広大な平地を有しており、乗鞍岳をはじめとする飛騨山脈の山岳眺望が良い地域である。 ・高山清見道路の高山ICから、東へ約5kmに位置し、将来は丹生川町坊方地区の丹生川IC（仮称）まで繋がる区間の中間地である。
インフラ整備	○アクセス道路 県道高山上宝線、県道町方高山線、市道下保上野線が近接しており、現形状ではセミトレーラーの通行が困難な箇所があるため、今後改良する計画があります。 ○上水道 未整備地区のため、受託工事や給水管の引き込みが必要です。

	○下水道 整備区域外のため、浄化槽での対応となります。
--	---

3. サウンディングの実施スケジュール

令和6年7月26日

サウンディング実施要領の公表

9月12・19・26日

サウンディング（対面・WEB方式）

4. サウンディングへの参加者

4社

5. サウンディング結果の概要

提案頂きたい項目	提案の概要
①中間ICが近接し、高台に広大な平地、山岳眺望が良いという立地条件を活かした整備の提案	・ファミリー向けの公園や農園 ・グランピングやRVパークなど、アクティビティが行える施設 ・星空観測が行える施設 ・高速バスなど交通のハブ拠点 ・企業誘致
②中間IC周辺の魅力向上や集客などにつながる提案	・地元食材による飲食、キッチンカーや、イベントが行える施設 ・収穫を体験できる農園（収穫から加工まで体験） ・林業企業における、家具の展示や体験などが行えるファクトリーパーク ・「高山らしさ」の食、文化、伝統体験できるような富裕層向けの宿泊施設
③提案された整備を行うための事業手法などの提案	・PFIの活用 ・事業検討段階からコンサルティング業務の実施
その他	・公園を中心に様々な機能、魅力を付加させる ・1つの機能だけでなく、多様な要素を持ち合わせるエリア ・地域活性化策は、市の関わりを前提とした伴奏型の開発として提案 ・土地活用を図る上で、行政によるインフラ整備（上下水道など）が必要など

6. 今後の対応

サウンディング結果を踏まえて、中間IC周辺の地域活性化策の検討を進めていきます。